

衆議院高知県小選挙区選出議員選挙第1区 選挙公報

◇この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真印刷したものです。◇

あとは、動くのみ。
聞け、日本の声を。

政策

東京一極
集中の打破。

信頼と納得、
安心の
政治の確立。

難しい課題を
乗り越える!!

高知の
「潜在力」を
最大限活かす!!

昭和55年9月11日高知市生まれ ◎小高坂小学校 卒業 ◎高知学芸中・高等学校 卒業 ◎日本大学法学院 卒業 ◎株式会社神戸製鋼所勤務 ◎平成17年 高知へリターン、政治活動を始める ◎平成19年 26歳で高知県議会議員初当選(当選二回) 県議会では公共交通問題調査特別委員会委員長・商店街振興議員連盟幹事長等歴任 ◎平成24年 第46回衆議院議員選挙高知1区次点にて落選

日本の声を
聞け。

民主党



これまでの日本の政治は、「人」と「モノ」と「お金」が都市に集中する国の方針を続けてきました。安倍政権になってから、益々その傾向が強くなっています。「アベノミクス」はそれを象徴するような政策です。「地域」に目を向け、自立への志を育み、それぞれの歴史と文化を持つ「豊かな地域」が全国に存在し、国を支える。そんな国づくりが今、必要不可欠です!

この二年間、安倍総理は国民の「信頼と納得、安心」を後回しにする態度を続けてきました。定数削減の約束、社会保障を建て直す約束、多くの約束が反故にされただけではなく、乱暴な国会運営で難しい課題を無理矢理押し通す、この先にあるのは「政治不信」と「強権政治」です。民主主義の基本は、国民全体の信頼と納得、これを取り戻すためには、緊張感のある国会の姿を取り戻さなければなりません!

日中関係を始め、緊張を増す国際関係、莫大な債務を抱えた財政課題、少子高齢化のような時代の変化に対応出来ずにいる社会保障の問題、エネルギーの問題、国論を二分する難しい課題が現在の政治には山積しています。先送りをせず、地道に、正心誠意課題解決にあたることが何より重要です。

県議会議員時代から、高知に眠る様々な可能性をつぶさに見てきました。伐期を迎える「森林」、質の良い農産物、水産物、海洋開発、新エネルギー、豊かな観光資源、これまで培ってきた歴史と文化、海外の諸国との友好関係…国政に携わる立場から、この資源を力に変えるお手伝いをするのも、重要な仕事です! 皆さんと共に、取り組みます!!

民主党公認

大石宗
おおいし
しゅうう
34歳



景気回復、この道しかない。

経済再生・財政再建を、この道で。

金融政策、財政政策、成長戦略の三本の矢をより強くするとともに、財政健全化目標も堅持し、経済再生と財政再建を両立させます。

地方創生・女性活躍推進・少子化対策を、この道で。

異次元の取り組みにより、「まち・ひと・しごと」創生の好循環を確立し、高知に新たな人の流れを生み出します。

暮らしの安全・安心、教育再生を、この道で。

もう一度「世界で一番安全な国」を創ります。また、安定した社会保障制度を構築することで、未来の安心を約束します。併せて、国家の基本である教育を再生させます。

外交・安全保障を、この道で。

積極的な平和外交を展開し、日本の平和と安定を築きます。また、日米同盟を基軸とした揺るぎない安全保障政策で、国民の生命と国益を断固として守りぬきます。

プロフィール

昭和32年 高知県高知市生まれ	平成12年 自治総括政務次官
昭和51年 土佐高等学校卒業	平成13年 国務大臣 防衛庁長官
昭和55年 防衛大学校本科卒業	平成18年 自由民主党 林政調査会長
平成 2年 衆議院総選挙初当選(8期)	平成19年 自由民主党 安全保障調査会長
平成 7年 国土政務次官	平成23年 自由民主党 政務調査会長代理
平成 9年 邮政政務次官	平成24年 自由民主党 副幹事長(特命担当)

現在の役職

自由民主党 幹事長特別補佐
安全保障法制整備本部長
選挙対策委員長代理
税制調査会副会長

誇りある 日本

高知を
元気に!

共に、
出来
地
方
から
事
が
ある。
強い高
知へ！

中谷
元

自民党公認

真の政治を実現

△財政再建や年金・医療・介護・子育ての財源確保のため消費税率10%への引き上げは不可避であり、経済状況を見極めて実施しなければなりません。

△尖閣周辺の中国公船の領海侵犯が常態化や防空識別圏の設定、中国漁船の密漁対策など、国の安全・保安を確保するため、安全保障関連法案を成立させなければなりません。

△地方創生法案(まち・人・しごと法案)で、基幹道路や防災施設の整備、地域経済の活性化や定住人口の増加のために全力で取り組む所存であります。

高知県選挙管理委員会

こあいさつ 春名なおあき
国民がどんなに心配、不安の声を上げても聞く耳を持たぬ安倍政権。私たちの力を変える大きなチャンスがやってきました。私は議員のときも現在も、県民の皆さんとともに行動し、願いに寄り添いたたかでまいりました。今回の選挙で、国民の声が通る新しい政治をなんとしてもくりたい、と強く決意しています。消費税率10%増税中止、戦争する国づくりを許さない、医療・介護・年金を守れ、若者に安定した雇用を原発再稼働ストップ、TPPやめて農林漁業と地域を守れーの願いを春名なおあきと日本共産党にどうぞお寄せください。

**海外で「戦争する国」にさせない
消費税10%ではなく きっぱり中止
暴走ストップ！ 政治を変える**



ブログ「行っちはじめんちきち」

◆元衆議院議員(2期7年)、党中央委員・県書記長、県革新懇代表世話人、消費税をなくす高知県の会常任世話人、杉の子町内会自主防災会副会長。◆高知大学教育学部卒。1959年生まれ。趣味 山登り、演劇鑑賞

多くの声に接してきました。くらしの願い、平和への思い、未来への希望と不安…
高知・四国から、届けたい声があります
浜川ゆりこ を国会に送るために
比例代表は 日本共産党 とお書きください
35歳、子育て真っ最中
半熟女子
浜川ゆりこ
にと書きと無効
QRコード

この事件の実況見分は、2006年3月3日14:55~15:04に行われ、終了と同時に仁淀川町のスクールバス運転手・片岡晴彦氏は逮捕連行された。

ところが、事故車両の後方(丸抜き写真の中)には15:22に現場を通過する高知県交通(当時)の路線バス写っている。とすれば、丸抜き写真で運転席に座っている片岡氏は警察官の替え玉ということになる。

つまり、この写真を撮影したという「実況見分」そのものが捏造され、総ての証拠が県警によって作り変えられたということだ。。。この国に司法は存在しない。

【私の政策】詳しくは新聞・テレビ・演説でお伝えします。

・脱原発／自然エネルギーと農林水産業の融合事業を進める。

例) きのこ栽培施設の屋根で太陽光発電。洋上風力発電の下で漁礁や養殖・集団的自衛権阻止／ノーベル平和賞を全ての日本国民が授与する活動中。



【ポスター貼りで応援してください。】
「藤島利久公式ブログ／街カフェ TV」
にあるポスターを印刷して貼り残した掲示板に貼って下さい。

藤島利久

